

# AWSサーバ EC2構築手順

# 目次（☆この流れに沿って環境を作っていきます）

- ①アカウント作成
- ②AWSコンソールへのログイン
- ③インスタンスの作成
- ④AWSへのssh接続
- ⑤ユーザとパスワード設定

# ①アカウント作成

※作成済みの方は不要です。

◆AWSの公式サイトへ接続。

<https://aws.amazon.com/jp/register-flow>



## ステップ 1: AWS アカウントの作成



下記のボタンよりサインアップ画面へ移動します。

※ 表示されたページが「日本語」でない場合、ページ右上 ① の言語選択ボックス

## AWS アカウントの作成

AWS アカウントには 12 ヶ月  
の無料利用枠が含まれています

Amazon EC2、Amazon S3、および Amazon DynamoDB の使用が  
含まれます

サービスの提供規約については [aws.amazon.com/free](https://aws.amazon.com/free) にアクセス  
してください

すべて任意で  
記入。

E メールアドレス

\* E メールは必須のフィールドです。

パスワード

パスワードの確認

AWS アカウント名 ⓘ

続行


[既存の AWS アカウントでログイン](#)

© 2019 Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.  
[プライバシーポリシー](#) | [使用条件](#)

## 連絡先情報

すべてのフィールドは  
必須です。

アカウントの種類を選択し、次のフィールドに連絡先の詳細を入力してください。

アカウントの種類 

プロフェッショナル  パーソナル

フルネーム

saur

電話番号

国/地域

アメリカ ▼

アドレス

番地、私書箱、会社名、様方

アパート、部屋、部署、ビル、階、など

市区町村

都道府県または地域

郵便番号

AWS カスタマーアグリーメントの諸条件を確認済みで、同意する場合はここをチェックしてください

アカウントを作成して続行

「パーソナル」を選択すると、  
画面が切り替わります。

法人なら「プロフェッショナル」

## 連絡先情報

すべてのフィールドは  
必須です。

アカウントの種類を選択し、次のフィールドに連絡先の詳細を入力してください。

### アカウントの種類 ⓘ

フルネーム

saur

電話番号

国/地域

アメリカ ▼

アドレス

番地、私書箱、会社名、様方

アパート、部屋、部署、ビル、階、など

市区町村

都道府県または地域

郵便番号

AWS カスタマーアグリーメントの諸条

アフィリエイトプログラム

アカウントを作成して続行

すべて半角英数字で任意で入力

- ◆電話番号はハイフンなし。
- ◆アドレスは以下のように変換。  
埼玉県川口市  
Saitamaken kawagutisi  
アマゾン202  
amazon202
- ◆郵便番号は、ハイフン付きで。

終わったらクリック。

## 支払情報

お客様の支払い情報は、身元の確認、および AWS 無料利用枠の制限を超える使用のためにのみ使用いたします。AWS 無料利用枠の制限を超えない使用に対しては請求いたしません。詳細については、[よくある質問](#)を参照してください。



支払い情報を送信されると、カードが有効であることを保証する確認料金としてお客様のクレジットカードに 1 USD/EUR を請求いたします。確認が完了するまで 3~5 日間クレジットカードの明細書に金額が未払いとして表示される場合がありますが、完了した時点で請求は削除されます。確認料金を承認するために、銀行のウェブサイトへリダイレクトされる場合があります。

クレジットカード/デビットカード番号

有効期限日

カード保有者の氏名

請求先住所

連絡先住所を使用する

202 totukaminami,2-9-7  
kawaguti satitam 333-0817  
JP

検証して追加する

カード情報を入力。

終わったらクリック。



## 2. 認証コードの入力

電話で受け取った 4 桁の検証コードを入力します。

08098616259

日本

住所を管理...

**手持ちの携帯番号  
に認証コードが届く  
ので、コードを入力。**

SMS を送信する

◆プランは無料を選択して、以下画面まで作業。

## ②AWSコンソールへのログイン



## サインイン ⓘ

AWS アカウントの E メールアドレス

または、IAM ユーザーとしてサインインするに

を入力してください。

次へ

新しい AWS アカウントの作成

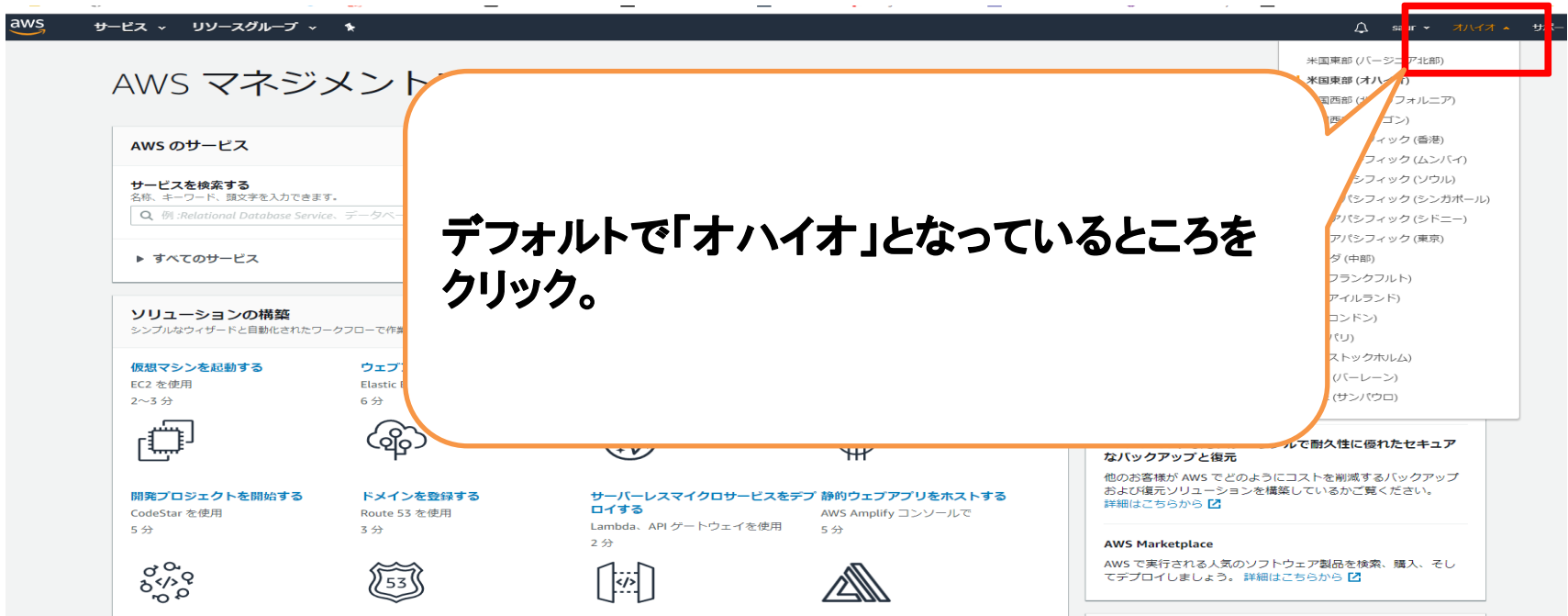
AWS  
re:Invent

## AWS Outposts

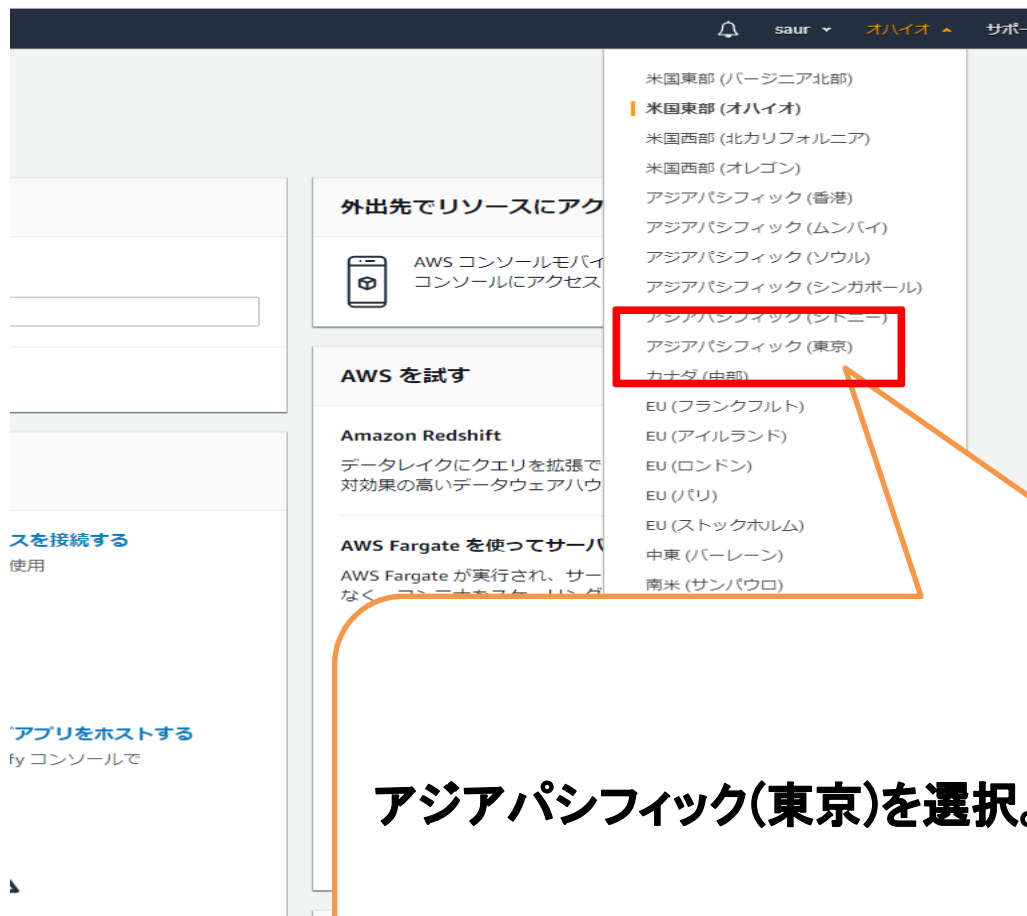
オンプレミス環境で AWS サービスを実行するための新しいハイブリッドソリューション

登録したアドレスを入力。  
次ページで、パスワードなども聞かれるので登録したものを入力。

# ◆ログインできたら リージョンを変更。どこの拠点上で操作するのか。



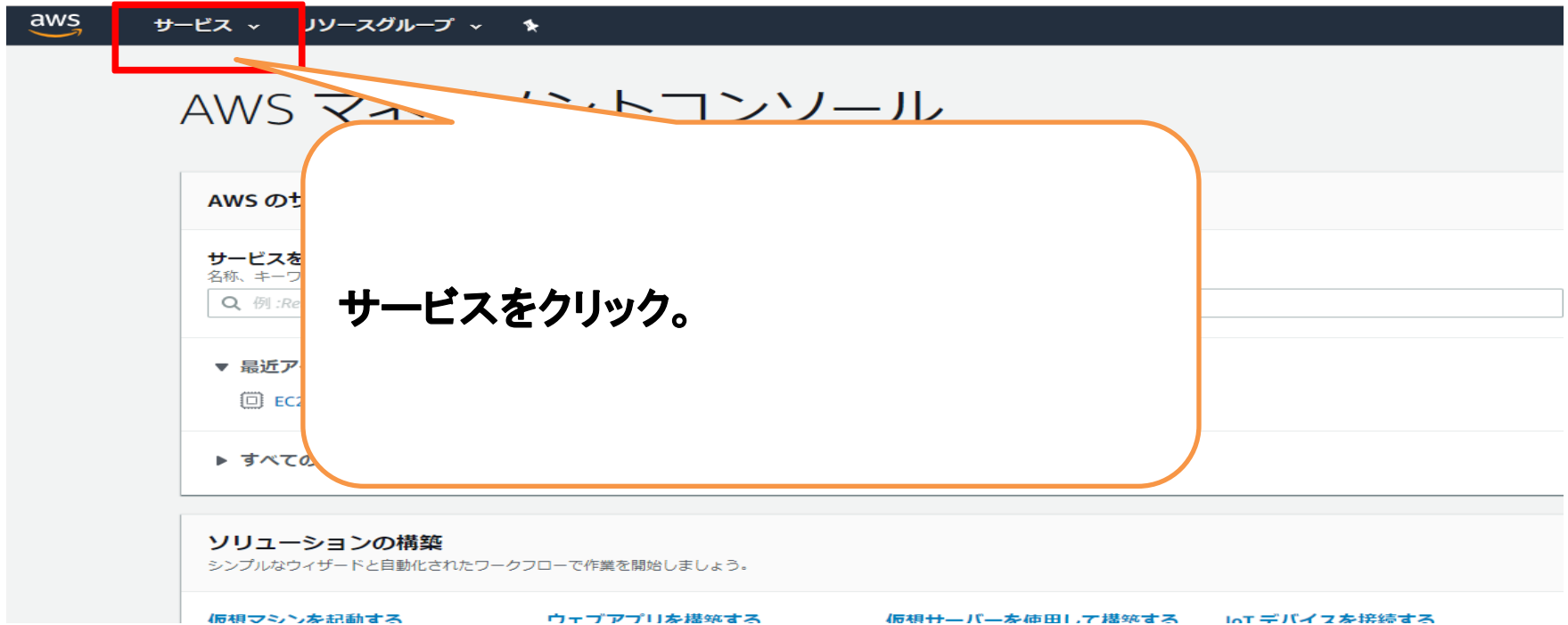
The screenshot shows the AWS Management Console interface. At the top right, the region is set to 'オハイオ' (Ohio), which is highlighted with a red rectangular box. A callout box with an orange border points to this region, containing the text: **デフォルトで「オハイオ」となっているところをクリック。** Below the region dropdown, a list of other regions is visible, including 米国東部 (オハイオ), 米国西部 (カリフォルニア), 西ヨーロッパ (ロンドン), シンガポール, アパシフィック (東京), フランクフルト, アイルランド, コンドン, パリ, ストックホルム, and サンパウロ. The main content area shows various AWS services and solutions, such as 'AWS のサービス', 'ソリューションの構築', and 'AWS Marketplace'.



米国東部 (バージニア北部)  
米国東部 (オハイオ)  
米国西部 (北カリフォルニア)  
米国西部 (オレゴン)  
アジアパシフィック (香港)  
アジアパシフィック (ムンバイ)  
アジアパシフィック (ソウル)  
アジアパシフィック (シンガポール)  
アジアパシフィック (シドニー)  
アジアパシフィック (東京)  
カナダ (中部)  
EU (フランクフルト)  
EU (アイルランド)  
EU (ロンドン)  
EU (パリ)  
EU (ストックホルム)  
中東 (バーレーン)  
南米 (サンパウロ)

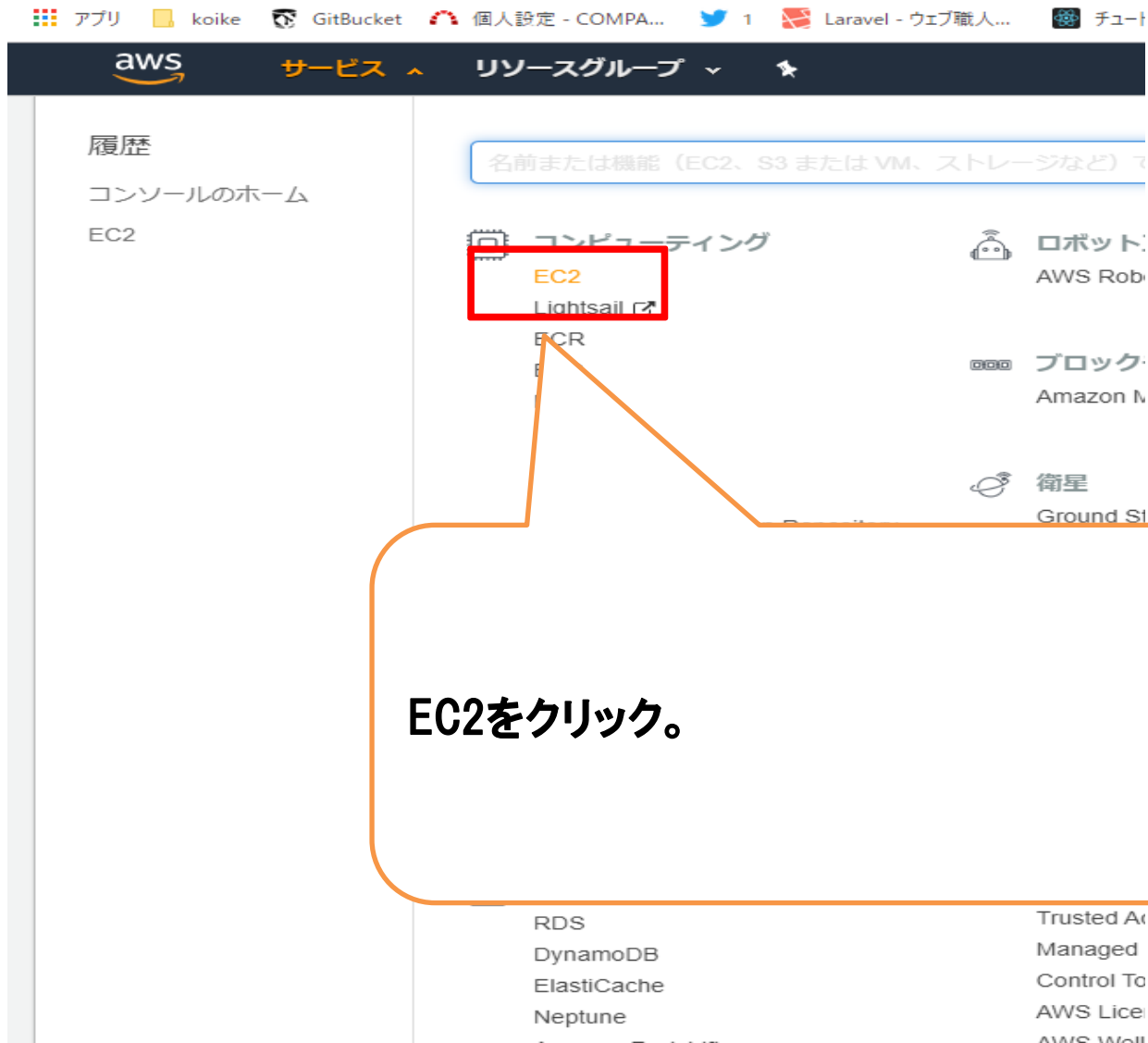
**アジアパシフィック(東京)を選択。**

# EC2ダッシュボードを操作。



ダッシュボードとは  
…課題や議事などを共有・管理する場所。  
(サイボウズ, Slack, チャットワークなどを使うところもある)

# EC2ダッシュボードを操作。



The screenshot shows the AWS Management Console interface. At the top, there is a navigation bar with the AWS logo and the text 'サービス' (Services) and 'リソースグループ' (Resource Groups). Below this, a search bar contains the text '名前または機能 (EC2、S3 または VM、ストレージなど)'. The main content area displays a grid of service tiles. The 'コンピューティング' (Computing) category is expanded, showing tiles for 'EC2', 'Lightsail', and 'ECR'. The 'EC2' tile is highlighted with a red rectangular box. An orange callout bubble with a tail pointing to the 'EC2' text contains the instruction 'EC2をクリック。' (Click EC2.).



# これで、 EC2操作作用の画面に移りました。

aws サービス ▼ リソースグループ ▼ ☆

**EC2 ダッシュボード**

- イベント
- タグ
- レポート
- 制限

▣ インスタンス

- インスタンス
- 起動テンプレート
- スポットリクエスト
- リザーブインスタンス
- 専有ホスト
- キャパシティの予約

▣ イメージ

- AMI
- バンドルタスク

▣ ELASTIC BLOCK STORE

- ボリューム
- スナップショット
- ライフサイクルマネージャー

▣ ネットワーク & セキュリティ

- セキュリティグループ
- Elastic IP
- プレースメントグループ
- キーペア

## リソース

アジアパシフィック (東京) リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用しています。

- 0 実行中のインスタンス
- 0 専有ホスト
- 0 個のボリューム
- 0 個のキーペア
- 0 個のプレースメントグループ

AWS re:Invent 2017 からの AWS コンピューティングの最新情報については、[EC2 の](#)

## インスタンスの作成

Amazon EC2 の使用を開始するには、Amazon EC2 インスタンスと呼ばれる仮想サーバー

**インスタンスの作成** ▼

注意: インスタンスは アジアパシフィック (東京) リージョンで起動されます。

## サービス状態

**サービスのステータス:**

- ✔ アジアパシフィック (東京):

**アベイラビリティゾーンのステータス:**

- ✔ ap-northeast-1a: アベイラビリティゾーンは通常動作中です
- ✔ ap-northeast-1c: アベイラビリティゾーンは通常動作中です
- ✔ ap-northeast-1d: ...

## ③インスタンス作成

◆インスタンスとは  
…仮想サーバに接続する機能を持つ入り口。

基本的に、1インスタンスに1サーバで同時に作られるので、  
イコール仮想サーバで覚えてOK。

◆AWSクラウドは、GUIで操作しやすいので法人でもどんどん一般化しています。

- EC2 ダッシュボード
  - イベント
  - タグ
  - レポート
  - 制限
- インスタンス
  - インスタンス
  - 起動テンプレート
  - スポットリクエスト
  - リザーブインスタンス
  - 専有ホスト
  - キャパシティの予約
- イメージ
  - AMI
  - バンドルタスク
- ELASTIC BLOCK STORE
  - ボリューム
  - スナップショット
  - ライフサイクルマネージャー
- ネットワーク & セキュリティ
  - セキュリティグループ
  - Elastic IP
  - プレイスメントグループ
  - キーペア

## リソース

アジアパシフィック (東京) リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用しています。

- 0 実行中のインスタンス
- 0 専有ホスト
- 0 個のボリューム
- 0 個のキーペア
- 0 個のプレイスメントグループ

AWS re:Invent 2017 からの AWS コンピューティングの最新情報については、[EC2 の](#)

## インスタンスの作成

Amazon EC2 の使用を開始するには、Amazon EC2 インスタンスと呼ばれる仮想サーバー

**インスタンスの作成**

注意: インスタンスはアジアパシフィック

## サービス状態

### サービスのステータス:

✓ アジアパシフィック (東京):

### アベイラビリティゾーンのステータス:

✓ ap-northeast-1a:

アベイラビリティゾーンは通常


✓ ap-northeast-1c:

アベイラビリティゾーンは通常動作中です

✓ ap-northeast-1d:

**インスタンスの作成。**

# どのAMIを使用するかを選択。

 サービス ▾ リソースグループ ▾ ☆





1. AMIの選択   2. インスタンスタイプの選択   3. インスタンスの設定   4. ストレージの追加   5. タグの追加   6. セキュリティグ

## 手順 1: Amazon マシンイメージ (AMI)

AMI は、インスタンスの作成に必要なソフトウェア構成 (OS、アプリケーションサーバー、アプリケーション) を含むテンプレ  
かを選択することもできます。

### クイックスタート

- マイ AMI
- AWS Marketplace
- コミュニティ AMI
- 無料利用枠のみ ⓘ

 <b>Amazon Linux</b> 無料利用枠の対象	<b>Amazon Linux 2 AMI (HVM), SSD Volume Type - ami-0ff21806645c5</b> Amazon Linux 2 には 5 年間のサポートが含まれます。Amazon EC2、systemd パッケージを提供します。 ルートデバイスタイプ: ebs   仮想化タイプ: hvm   ENA 有効: はい
 <b>Amazon Linux</b> 無料利用枠の対象	<b>Amazon Linux AMI 2018.03.0 (HVM), SSD Volume Type - ami-0ab3e</b> Amazon Linux AMI は、AWS がサポートする EBS-backed イメージです。デフ: PostgreSQL、およびその他のパッケージが含まれます。 ルートデバイスタイプ: ebs   仮想化タイプ: hvm   ENA 有効: はい
 <b>Windows</b> 無料利用枠の対象	<b>Microsoft Windows Server 2019 Base - ami-0342e79d2629aa47f</b> Microsoft Windows 2019 Datacenter edition. [English] ルートデバイスタイプ: ebs   仮想化タイプ: hvm   ENA 有効: はい
 <b>Red Hat</b> 無料利用枠の対象	<b>Red Hat Enterprise Linux 8 (HVM), SSD Volume Type - ami-09f31cc5</b> Red Hat Enterprise Linux version 8 (HVM), EBS General Purpose (SSD) Volume ルートデバイスタイプ: ebs   仮想化タイプ: hvm   ENA 有効: はい

# AMIとは

…アマゾンマシンイメージの略称。

◆物理サーバはOSをメーカーから購入して導入する。

◆仮想サーバは多くが、  
イメージファイルやディスクなどからイメージ情報をインストールする。

- 1. AMI の選択
- 2. インスタンスタイプの選択
- 3. インスタンスの設定
- 4. ストレージの追加
- 5. タグの追加
- 6. セキュリティグ...

### 手順 1: Amazon マシンイメージ (AMI)

AMI は、インスタンスの作成に必要なソフトウェア構成 (OS、アプリケーションサーバー、アプリケーション) を含むテンプレートを検索することもできます。

検索用語を入力して AMI を検索します (「Windows」など)。

クイックスタート

- マイ AMI
- AWS Marketplace
- コミュニティ AMI

無料利用枠のみ ⓘ

 Amazon Linux 無料利用枠の対象	<b>Amazon Linux 2 AMI (HVM), SSD Volume Type - ami-0ff21806645c5</b> Amazon Linux 2 には 5 年間のサポートが含まれます。Amazon EC2、systemd パッケージを提供します。 ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm ENA 有効: はい
 Amazon Linux 無料利用枠の対象	Amazon Linux ... 0ab3e PostgreSQL、お ルートデバイス...
 Windows 無料利用枠の対象	Microsoft Wi Microsoft Wind ルートデバイス...
 Red Hat 無料利用枠の対象	<b>Red Hat Enterprise Linux 8 (HVM), SSD Volume Type - ami-09f31cc5</b> Red Hat Enterprise Linux version 8 (HVM), EBS General Purpose (SSD) Volume ... ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm ENA 有効: はい

今回はAmazon Linux 2を選択。

### 手順 1: Amazon マシンイメージ (AMI)

AMI は、インスタンスの作成に必要なソフトウェア構成 (OS、アプリケーションサーバー、アプリケーション) を含むテンプレートです。AMI は、AWS が提供するもの、ユーザーコミュニティが提供するもの、または AWS Marketplace に掲載されているものを選択できます。独自の AMI のいずれかを選択することもできます。

キャンセルして終了

検索用語を入力して AMI を検索します (「Windows」など)

#### クイックスタート

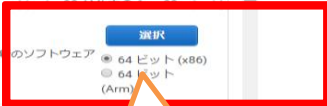
マイ AMI

AWS Marketplace

コミュニティ AMI

無料利用枠のみ

- Amazon Linux 2 AMI (HVM), SSD Volume Type - ami-0ff21806645c5e492 (64 ビット x86) / ami-024b748b625ec022a (64 ビット Arm)**  
Amazon Linux 2 には 5 年間のサポートが含まれます。Amazon EC2、systemd 219、GCC 7.3、Glibc 2.26、Binutils 2.29.1 で最適なパフォーマンスを発揮できるように調整された Linux カーネル 4.14、および、追加の無料のソフトウェアパッケージを提供します。  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm ENA 有効: はい
- Amazon Linux AMI 2018.03.0 (HVM), SSD Volume Type - ami-0ab3e16f9c414dee7**  
Amazon Linux AMI は、AWS がサポートする EBS-backed イメージです。デフォルトのイメージには、AWS コマンドラインツール、Python、Ruby、Perl、および Java が含まれます。レポジトリには、Docker、PHP、MySQL、PostgreSQL、およびその他のパッケージが含まれます。  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm ENA 有効: はい
- Microsoft Windows Server 2019 Base - ami-0342e79d2629aa47f**  
Microsoft Windows 2019 Datacenter edition, [English]  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm ENA 有効: はい
- Red Hat Enterprise Linux 8 (HVM), SSD Volume Type - ami-09f31cc5d5ecca1a**  
Red Hat Enterprise Linux version 8 (HVM), EBS General Purpose (SSD) Volume Type  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm ENA 有効: はい



64ビット(x86)を選択。

# ◆インスタンスタイプの選択

aws サービス リソースグループ

1. AMIの選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

手順 2: インスタンスタイプの選択

Amazon EC2 では、異なるユースケースに合わせて最適化されたさまざまなインスタンスタイプが用意されています。インスタンスは、アプリケーションを構成されているため、使用するアプリケーションに合わせて適切なリソースの組み合わせを柔軟に選択できます。インスタンスタイプおよびそれをコンピュー

フィルター条件:

現在選択中: t2.micro (可変 ECU, 1 vCPU, 2.5 GHz, Intel Xeon Family, 1 GiB メモリ, EBS のみ)

	ファミリー	タイプ	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.nano	1	0.5	EBS のみ
<input checked="" type="checkbox"/>	汎用	t2.micro 無料利用枠の対象	1	1	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.small	2	2	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.medium	2	4	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.large	4	8	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.xlarge	8	16	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t2.2xlarge	16	32	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t3a.nano	1	0.5	EBS のみ
<input type="checkbox"/>	汎用	t3a.micro	1	1	EBS のみ

①この項目を設定していきます。

②デフォルトのままでOK。

③画面右下の「次の手順」をクリック。

キャンセル 戻る **確認と作成** 次の手順: インスタンスの詳細の設定



# ◆インスタンスの設定(詳細設定をします)



サービス

リソースグループ

1. AMIの選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

## 手順 3: インスタンスの詳細の設定

要件に合わせてインスタンスを設定します。同じAMIからの複数インスタンス作成や、より低料金を実現するためのスポットインスタンスのリクエスト、インスタ

インスタンス数  Auto Scaling グループに作成する

購入のオプション  スポットインスタンスのリクエスト

ネットワーク  新しいVPCの作成

サブネット  新しいサブネットの作成

自動割り当てパブリックIP

配置グループ  インスタンスをプレースメントグループに追加します。

キャパシティの予約  新しい

IAM ロール  新しいIAM

シャットダウン動作

削除保護の有効化  誤った削除から保護します

モニタリング  CloudWatch 詳細モニタリングを有効化  
追加料金が適用されます。

テナンシー   
専用テナンシーには追加料金が適用されます。

Elastic Inference  Elastic Inference アクセラレーターを追加  
追加料金が適用されます。

T2/T3 無制限  有効化 EBS のみ  
追

すべてデフォルトのままでOK。

画面右下の「次の手順」をクリック。

	中	はい
Up to 5 Gigabit		はい
Up to 5 Gigabit		はい
Up to 5 Gigabit		はい
Up to 5 Gigabit		はい
Up to 5 Gigabit		はい

次の手順: インスタンスの詳細の設定

# 設定できる物は

- ◆ネットワークセキュリティとしてゲートウェイを設定する
- ◆サブネット(CIDR)を設定する
- ◆ロール権限(アクセス権限、削除権限、作成権限)

※物理と同じです。

# ◆ストレージの追加

aws

サービス ▾ リソースグループ ▾ ☆

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

## 手順 4: ストレージの追加

インスタンスは次のストレージデバイス設定を使用して作成されます。インスタンスに追加の EBS ボリュームやインスタンスストアボリュームをアタッチするか、ルートボリュームの設定を編集することができます。また、インスタンスを作成してから追加の EBS ボリュームをアタッチすることもできますが、インスタンスストアボリュームはアタッチできません。Amazon EC2 のストレージオプションに関する [詳細はこちら](#) をご覧ください。

ボリュームタイプ ⓘ	デバイス ⓘ	スナップショット ⓘ	サイズ (GiB) ⓘ	ボリュームタイプ ⓘ	IOPS ⓘ	スループット (MB/秒) ⓘ
ルート	/dev/xvda	snap-0bdfaa2da723d01c	<input type="text" value="8"/>			

新しいボリュームの追加

無料利用枠の対象であるお客様は 30 GB までの EBS 汎用 (SSD) ストレージまたはマグネティックスキャンに関する [詳細はこちら](#)。

すべてデフォルトのまま OK。

EBS のみ

中

はい

画面右下の「次の手順」をクリック。

戻る

次の手順: インスタンスの詳細の設定

# ◆タグの追加

aws

サービス

リソースグループ



1. AMI の選択
2. インスタンスタイプの選択
3. インスタンスの設定
4. ストレージの追加
5. タグの追加
6. セキュリティグループの設定
7. 確認

## 手順 5: タグの追加

タグは、大文字と小文字が区別されるキーと値のペアから構成されます。たとえば、キーに「Name」、値に「Webserver」を使用してタグを定義することができます。

タグのコピーは、ボリューム、インスタンス、またはその両方に適用できます。

タグは、すべてのインスタンスとボリュームに適用されます。Amazon EC2 リソースのタグ付けについては [詳細はこちら](#)。

キー (最大 127 文字)

値 (最大 255 文字)

このリソースには現在、タグが

[タグの追加] ボタンを選択するか、[クリックして Name](#)  
タグを作成するためのアクセス権限が [IAM ポリシー](#) に含まれ

すべてデフォルトのままでOK。

タグの追加 (最大 50 タグ)

EBS のみ

中

はい

Up to 5 Gigabit

はい

Up to 5 Gigabit

はい

Up to 5 Gigabit

はい

Up to 5 Gigabit

はい

Up to 5 Gigabit

はい

画面右下の「次の手順」をクリック。

ル

戻る

タグ作成

次の手順: インスタンスの詳細の設定

# タグとは

…メタデータ(特に複雑に紐づかない情報。キー情報。)

※キー情報には、  
タグのような重要じゃないものや、主キーなどのように必須になる情報の2つがある。メタデータは前者。

# ◆セキュリティグループの設定

- 1. AMI の選択
- 2. インスタンスタイプの選択
- 3. インスタンスの設定
- 4. ストレージの追加
- 5. タグの追加
- 6. セキュリティグループの設定
- 7. 確認

## 手順 6: セキュリティグループの設定

セキュリティグループは、インスタンスのトラフィックを制御するファイアウォールのルールセットです。このページで、特定のトラフィックに対するインスタンスへの到達を許可する場合、HTTP および HTTPS ポートに無制限のアクセス権限を与えます。新しいセキュリティグループを作成するか、次の既存のセキュリティグループを選択するかを指定します。

- セキュリティグループの割り当て:  新しいセキュリティグループを作成する  
 既存のセキュリティグループを選択する

セキュリティグループ名: launch-wizard-1  
説明: launch-wizard-1 created 2019-09-09

タイプ  プロトコル

ルールの追加

すべてデフォルトのままでOK。

**警告** 送信元が 0.0.0.0/0 のルールを指定すると、すべての IP アドレスからインスタンスにアクセスすることが許可されます。セキュリティグループのルールを慎重に設定してください。

EBS のみ	中	はい
	Up to 5 Gigabit	はい
	Up to 5 Gigabit	はい
	Up to 5 Gigabit	はい
	Up to 5 Gigabit	はい
	Up to 5 Gigabit	はい
	Up to 5 Gigabit	はい

ルールの作成 次の手順: インスタンスの詳細の設定

画面右下の「次の手順」をクリック。

# 最終確認



サービス ▾ リソースグループ ▾

1. AMI の選択
2. インスタンスタイプの選択
3. インスタンスの設定
4. ストレージの追加
5. タグの追加
6. セキュリティグループの設定
7. 確認

## 手順 7: インスタンス作成の確認

**⚠** インスタンスのセキュリティを強化します。セキュリティグループ launch-wizard-1 は世界に向けて開かれてこのインスタンスには、どの IP アドレスからもアクセスできる可能性があります。セキュリティグループのルールを更新して、既知の IP または、セキュリティグループの追加ポートを開いて、実行中のアプリケーションやサービスへのアクセスを容易にすることもできます。た

### AMI の詳細



Amazon Linux 2 AMI (HVM), SSD Volume Type - ami-0ff21806645c5e

無料利用枠  
の対象

Amazon Linux 2 には 5 年間のサポートが含まれます。Amazon EC2、systemd、  
ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm

### インスタンスタイプ

インスタンスタイプ	ECU	vCPU	メモリ (GiB)	イン
t2.micro	可変	1	1	EBS

### セキュリティグループ

セキュリティグループ名 launch-wizard-1  
説明 launch-wizard-1 created 2019-09-10T17:50:02.615+09:00

設定値を最終確認する画面。  
そのまま見なくても大丈夫。

明 ⓘ

インスタンスの詳細の編集  
ストレージの編集  
タグの編集

戻る 起動

イバシーポリシー 利用規約

よければ起動をクリック。

# ◆キーペアの作成

グループ launch-wizard-1 は世界に向けて開かれています。

ます。セキュリティグループのルールを更新して、既知の IP アドレスからのみアクセスできるようにすることをお勧めしま  
オンやサービスへのアクセスを容易にすることもできます。たとえば、ウェブサーバー用に HTTP (80) を開きます。 [セキュリ](#)

### 既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。

キーペアは、AWS が保存するパブリックキーとユーザーが保存するプライベートキーファイルで構成され  
れます。組み合わせて使用することで、インスタンスに安全に接続できます。Windows AMI の場合、プ  
ライベートキーファイルは、インスタンスへのログインに使用されるパスワードを取得するために必要  
です。Linux AMI の場合、プライベートキーファイルを使用してインスタンスに SSH で安全に接続でき  
ます。

注: 選択したキーペアは、このインスタンスに対して権限がある一連のキーに追加されます。パブリッ  
ク AMI から既存のキーペアを削除するの詳細情報をご覧ください。

既存のキーペアの選択

キーペアの選択

キーペアが見つかりません

ありません  
上記の [新しいキーペアを作成する] オプションを選択  
作成して続行してください。

キャンセル

5e49  
219、  
び、追  
インス  
BS の

今回は既存のものがないので、  
新規のキーペアを作成しましょ  
う。  
名前も自分で選択。

問題なければクリック。



# 前ページの続きで

キーペア名を入力し、  
「キーペアのダウンロード」から.pemファイルのダウンロードを行います  
(再度ダウンロードは不可なので大切に！！)

## キー認証について

…ここではいわゆる秘密鍵暗号を使用しています。  
(Amazonが用意してくれている)

プライベートキーが今作成したpemファイル。  
パブリックキーは、同時に内部で自動作成してくれている。

# ◆キーペアの作成

## 作成ステータス

✔ インスタンスは現在作成中です  
次のインスタンスの作成が開始されました: i-06ecb14fab733ebe5 [作成ログの表示](#)

ℹ 予想請求額の通知を受け取る  
[請求アラートの作成](#) [AWS 請求書の予想請求額](#) (利用枠を超えた場合)、...

### インスタンスへの接続方法

インスタンスは作成中です。実行中状態になり、使用を開始するには、[インスタンスの表示] をクリックして、インスタンスの IP アドレスを確認し、新しいインスタンスに接続します。実行中状態になれば、[

この表示であればOK。  
完了まで数分かかりますが、  
次のステップに移りましょう。

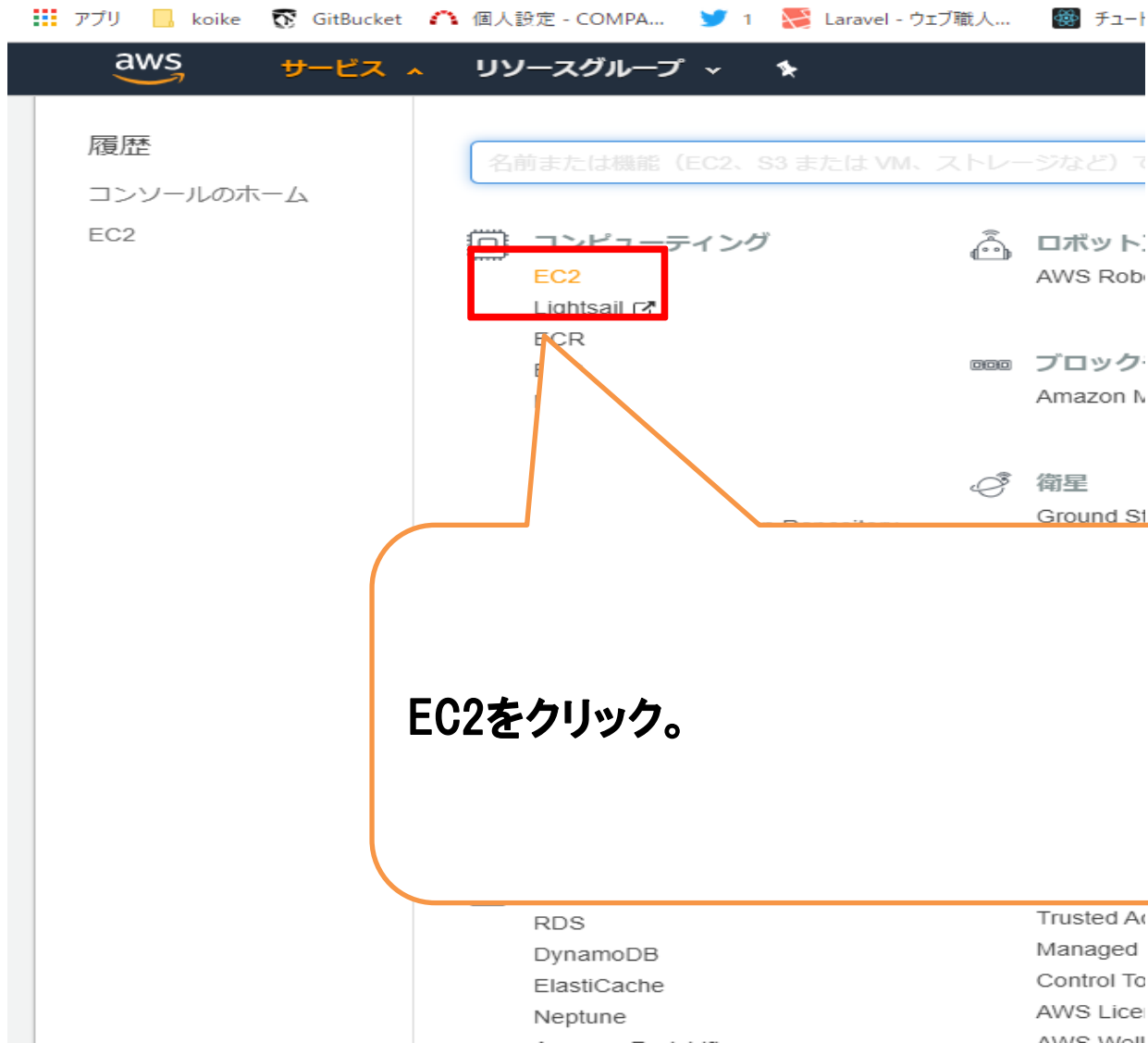
▼ ここには、作業を始めるのに役立つ

- [Linux インスタンスへの接続方法](#)
- [AWS 無料利用枠の詳細](#)
- [Amazon EC2: ユーザーガイド](#)
- [Amazon EC2: ディスカッションフォーラム](#)

インスタンスの作成中、次のことも行うことができます

- [ステータスチェックアラームの作成](#) これらのインスタンスがステータスチェックに合格しなかったときは通知が送信されます
- [追加の EBS ボリュームを作成してアタッチする](#) (追加料金が適用される場合があります)
- [セキュリティグループの管理](#)

# EC2ダッシュボードを操作。



The screenshot shows the AWS Management Console interface. At the top, there is a navigation bar with the AWS logo and the text 'サービス' (Services) and 'リソースグループ' (Resource Groups). Below this, a search bar contains the text '名前または機能 (EC2、S3 または VM、ストレージなど)'. The main content area displays a grid of service icons. The 'EC2' icon is highlighted with a red rectangular box. An orange callout box with a pointer directed at the EC2 icon contains the text 'EC2をクリック。' (Click EC2.).

履歴

コンソールのホーム

EC2

名前または機能 (EC2、S3 または VM、ストレージなど)

コンピューティング

EC2

Lightsail

ECR

ロボット: AWS RoboMaker

ブロック: Amazon M...

衛星 Ground Station

RDS

DynamoDB

ElastiCache

Neptune

Trusted Ar...

Managed

Control To...

AWS Lice...

AWS Man...

## EC2 ダッシュボード

イベント

タグ

レポート

制限

## ▣ インスタンス

インスタンス

起動テンプレート

スポットリクエスト

リザーブインスタンス

専有ホスト

キャパシティの予約

## ▣ イメージ

AMI

バンドルタスク

## ▣ ELASTIC BLOCK STORE

ボリューム

## リソース

アジアパシフィック(東京)リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用しています。

1 [実行中のインスタンス](#)

0 専有ホスト

1 個のポリシー

1 個のキーペア

0 個のプレイ

AWS re

## インスタ

Amazon EC

インスタ

注意: インスタ

## サービス

実行中のインスタンスが増えている。  
クリック。

The screenshot shows the AWS Management Console interface. The top navigation bar includes the AWS logo and the text 'サービス' (Services) and 'リソースグループ' (Resource Groups). The left sidebar contains a navigation menu with items like 'EC2 ダッシュボード', 'イベント', 'タグ', 'レポート', '制限', 'インスタンス', '起動テンプレート', 'スポットリクエスト', 'リザーブインスタンス', '専用ホスト', 'キャパシティの予約', 'イメージ', and 'AMI'. The main content area is titled 'インスタンスの作成' (Create Instance) and features a search bar with the text 'タグや属性によるフィルター、またはキーワードによる検索'. Below the search bar is a table of EC2 instances. The table has columns for 'Name', 'インスタンス ID', 'インスタンスタイプ', 'アベイラビリティゾーン', 'ステータス', '操作', 'アラームのステータス', and 'パブリック DNS'. One instance is visible with the following details: Name: i-06ecb14fab733ebe5, Instance ID: i-06ecb14fab733ebe5, Instance Type: t2.micro, Availability Zone: ap-northeast-1a, Status: running (indicated by a green dot), and Public DNS: ec2-13-113-40-60.ap-n... The 'running' status is highlighted with a red box.

ここrunningになっていれば、  
完成していて起動している。



This is a close-up view of the EC2 instance table from the previous screenshot. The table has columns for 'パブリック DNS (IPv4)' and 'IPv4 パブリック IP'. The instance shown has a public IP address of 13.113.40.60. The 'running' status and the public IP address are highlighted with a red box.

右のほうにIPアドレスもあるので確認。

The screenshot shows the AWS Management Console interface for EC2 instances. The top navigation bar includes the AWS logo, 'サービス' (Services), and 'リソースグループ' (Resource Groups). The left sidebar lists navigation options such as 'EC2 ダッシュボード', 'イベント', 'タグ', 'レポート', '制限', 'インスタンス', '起動テンプレート', 'スポットリクエスト', 'リザーブインスタンス', '専用ホスト', 'キャパシティの予約', and 'イメージ'. The main content area features a search bar and a table of instances. An 'アクション' (Actions) dropdown menu is open, showing options like '接続', 'Windows パスワードの取得', 'Create Template From Instance', and '同様のものを作成'. A sub-menu for 'インスタンスの状態' (Instance State) is highlighted with a red box, containing the following options: '開始' (Start), '停止' (Stop), 'Stop - Hibernate', '再起動' (Restart), and '終了' (Terminate). A callout box with an orange border and a pointer to the '開始' option contains the text: '起動や再起動もブラウザからの操作がどこからでも可能。' (Starting and restarting can be done from the browser from anywhere).

起動や再起動もブラウザからの操作がどこからでも可能。

## ④ AWSへのssh接続

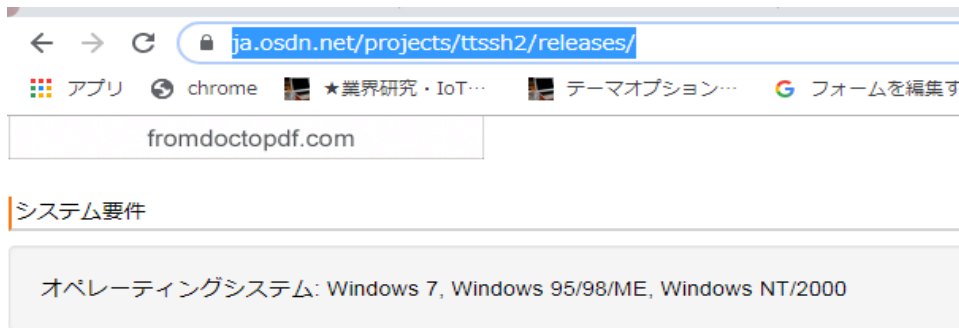
◆ssh暗号方式で接続します。  
CUI操作ができるようになるので便利です。

## ◆windowsの人のみ。

公式サイトから、teratremツールをダウンロード。

※すでにダウンロードされている人は不要です。

<https://ja.osdn.net/projects/ttssh2/releases/>



画面中央くらいにあるexeファイルをダウンロード。



File Name	Date	Type	Size
C96_Minami3_0723_H.jpg	2019/08/11 17:49	JPEG イメージ	6,586 KB
TeamViewer_Setup.exe	2019/06/26 14:55	アプリケーション	22,336 KB
teraterm-4.104.exe	2019/09/12 16:41	アプリケーション	13,837 KB
VirtualBox-5.2.32-132323-Win.exe	2019/07/29 20:04	アプリケーション	107,757 KB
VirtualBox-6.0.4-132323-Win.exe	2019/03/21 11:35	アプリケーション	214,503 KB

**ダウンロードできたものを実行して、デフォルトでインストール。**

①パブリックDNS IPv4を選択。

②SSHのTCPポートが22であること。

③クリック。



①デフォルトユーザでログイン。  
パスワードはなし。

デフォルトユーザ: ec2-user

The image shows a dialog box for terminal connection configuration. The fields for 'ユーザー名(N):' and 'パスワード' are highlighted with a red box. The 'Authentication methods' section has 'RSA/DSA/ECDSA/ED25519鍵を使う' selected, and its corresponding '秘密鍵(K):' field is also highlighted with a red box. The 'OK' button at the bottom right is highlighted with a red box.

②RSAで、  
ダウンロードしたpemファイル  
を選択。

③クリック。

```
ec2-13-113-40-60.ap-northeast-1.compute.amazonaws.com - ec2-user@ip-172-31-39...
ファイル(E) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Last login: Thu Sep 12 07:29:46 2019 from 27-136-51-18.rev.home.ne.jp

  _ | ( _ | )
  _ | ( _ | /
  _ | ¥ _ | _ |

Amazon Linux 2 AMI

https://aws.amazon.com/amazon-linux-2/
[ec2-user@ip-172-31-39-160 ~]$
```

ログインできればOK。

◆Macの人のみ。

ターミナルを起動し、以下のコマンドを操作。

【ターミナルへの接続の仕方】

<https://techacademy.jp/magazine/5155>

【ターミナルでの実施コマンド操作】

```
chmod 600 ○○○.pem
```

【AWSへのログインの仕方】

```
ssh ec2-user@{パブリックDNS IPv4} -i ○○○.pem
```

## ⑤ ユーザとパスワード設定

- ◆ 操作確認もかねて、ユーザを設定しましょう。
- ◆ 最初は、ec2-userのみがデフォルトで備わっています。
- ◆ sudoで管理者権限はデフォルトで使用できます。

◆各自、必要なコマンドを試していきましょう！！

【rootへのスイッチ】

```
sudo su -
```

【ユーザ作成】

```
useradd -m {新規ユーザ名}
```

結果確認

```
more /etc/passwd
```

【パスワード設定】

```
passwd {ユーザ名}
```